

1 全国学力・学習状況調査（6年，H30.4.17実施）

※A問題：主として「知識」に関する問題（基礎・基本）

※B問題：主として「活用」に関する問題（思考・判断・表現）

正答率	国	県	本校
国語A	70.7	71	67
国語B	54.5	54	53
算数A	78.6	76	75
算数B	51.5	50	45
理科	51.5	50	45

（結果分析）

- ・領域別では算数の「図形」，特にその知識・理解に関して課題が見られた。
- ・質問紙の結果から，予習復習を実施している児童の割合が全国平均より9ポイント高い。また，理科が好きな児童の割合も全国平均より8ポイント高い。さらに，自分で考えて取り組む姿勢や話の組み立てを工夫して発表しようとする肯定的な反応が高かった。
- ・自分に長所があると応えた児童の割合は全国及び県平均より9ポイント低い。また，算数が良くわかると応える児童も8ポイント低い。

（課題対策）

- ・「主体的・対話的で深い学び」をテーマとして取り組んでいる，校内課題研究「算数」に引き続き取り組んでいくとともに，ぼぼタイム（計算学習）や家庭での計算ドリルで基礎・基本を定着させる。
- ・学級での係活動や，高学年の委員会活動などの特別活動を充実させることで，児童の自己有用感や自己肯定感を育てていく。

2 埼玉県学力・学習状況調査（4・5・6年，H30.4.12実施）

<6年>

正答率	県	市	本校
国語	64.9	63.8	66.3
算数	55.2	55.5	47.9

< 5年 >

正答率	県	市	本校
国 語	58.6	56.2	51.9
算 数	56.8	54.4	48.6

< 4年 >

正答率	県	市	本校
国 語	62.0	61.6	63.4
算 数	62.1	62.1	61.9

(結果分析)

- ・ 観点別ではどの学年も、「話す・聞く能力」と「数量関係」に課題が見られた。学年別では第5学年の底上げが必要である。
- ・ 質問紙調査の結果から、自分の出した答えを振り返ったり、確かめたりすることに課題が見られた。

(課題対策)

- ・ 業前学習や朝自習で基礎・基本の定着プリントに取り組むとともに、南小3達プリントや埼玉県教育委員会が作成したコバトン問題集にも取り組む。
- ・ 全国学力調査の対策と同様に、校内課題研究による授業研究で改善を図る。